

発行日/2017.12.1

嘉麻市社協だより

えがよ

No.142

クリスマスモビール
づくりをしたよ♪



お母さんと子どもたちとの

～おしゃべりサロン～

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751

FAX 0948-83-8005



<https://www.facebook.com/kama.swc>

<http://kama.syakyo.com>

✉ info@kama.syakyo.com

今月は、稲築西地区の協議体 「なつきちゃんにし」を紹介します

稲築西地区は、バス以外の移動手段がなく、タクシーを使わざるを得ない。バスの乗り継ぎが不便なうえ、バス停までの距離が遠く、通院や買い物に困っているとの声が多く聞かれました。そこで、「買い物や病院に通いやすい移動の仕組み」をテーマに話し合っています。

予約乗り合いタクシーについて調べたり、配達可能な商店のリストを作れないかと嘉麻市商工会に相談する中で、制度上の課題や商店の実情がわかりました。

思うように話が進まない中、社会福祉法人稲穂会 軽費老人ホーム稲穂園が、「地域貢献事業の一つとして協力しましょう」と言ってくださり、まずは買い物に行くための方法を考えることにし、買い物に困っている方や困っている方を知っている地域の方からの相談に応じられる仕組みづくりを目指しています。

まずはお試して実施できないか話し合う中で、あらたに「リスクマネジメント」についての意見が出ました。リスクマネジメントとは、あってはほしくないけれど、けがや事故などがあるかもしれないという視点で、その可能性を未然に防ぐ。また、起きた場合の対処についても管理することです。その仕組みを継続していくうえでとても大切なことなので、しっかり話し合っていきたいと思います。



協議体はどなたでも参加できます。
みなさんの声を地域づくりに活かしてみませんか？

また、協議体の開催時間に合わせて、出張相談窓口を開催しています。介護のことに限らず、何でもご相談ください。

今後の協議体について

会場：稲築保健センター

平成 29 年 12 月 21 日(木) 10:00 ~
平成 30 年 1 月 18 日(木) 10:00 ~
2 月 15 日(木) 10:00 ~
3 月 15 日(木) 10:00 ~



本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/> (ブログのアドレスが変わりました)

平成29年福岡県社会福祉大会

2017年10月25日(水)

10月25日(水)、平成29年福岡県社会福祉大会に参加しました。

NHK解説委員である後藤千恵さんの記念講演の中で、年収300万円以下の世帯が33%になり、貯蓄がゼロの世帯もある。今後も厳しい状況が続く中で、新たな社会をつくっていくことが大切だとの話がありました。行政に頼るだけではなく、それぞれができることをし、誰かの役に立つ。そんな地域の力を高め、自分たちで地域を作るといった新たな地域共生社会が求められています。誰かの役に立ちたいと思っている人と困っている人をつなげる仕組みや農業と福祉といった他事業を組み合わせ、地域住民と連携できるような新たな仕組みが求められており、様々な工夫やアイデアが必要とされています。

高齢者だから困るのではなく、最後に誰かから必要とされる生きがいを感じられるようになり、「働く=幸せ」「楽しい」が原動力になるのがこれからの働き方であると学びました。

嘉麻市では、5つの協議体で、お住まいの地域の5年後、10年後のことを話し合っています。改めて、市民のみなさんが主役となる共生社会について考える時間となりました。



嘉穂郡社会福祉協会文化祭

2017年11月3日(金)

11月3日(金)、社会福祉法人嘉穂郡社会福祉協会の文化祭におじゃましました。

母子生活支援施設や保育園、児童養護施設や特別養護老人ホームで働く職員さんや利用者さんたちが手作りで開催している文化祭です。秋晴れの下で、たこ焼きやラーメン、ソフトクリームを食べる方やステージを楽しんでいる方など、みなさんの笑顔があふれていました。

嘉穂郡社会福祉協会は、かま福祉ネットワーク委員会の会員で、市内の社会福祉法人と一緒に地域の社会貢献に取り組んでおられます。6月の九州北部豪雨で被災した東峰村にも行き、職員さんたちがボランティア活動に参加しています。その時、目の当たりにした東峰村の様子を気にかけておられ、今回の文化祭でも何か役に立てればとの思いから、東峰村の出展ブースが設けられ、つづみの里から5つの窯元の作品が出展されていました。

つづみの里の職員さんに話を伺うと、「豪雨で大きな被害が出ましたが、たくさんのボランティアさんの力で片づけが進み、今も様々なイベントにお声かけいただき、東峰村は少しずつ元気になっています。ありがとうございます」と、素敵な笑顔を見せていただきました。私たちも、災害ボランティアセンターの手伝いをする中で、何か力になれたのかなあと、とても嬉しく思いました。



在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、いろいろな情報交換をつうじて、楽しくリフレッシュしています。

- 平成29年12月14日(木)
稲築住民センターにて(岩崎1-14-3番地3)
- 平成30年1月11日(木)
ふれあいハウスにて(上山田502番地6)

※時間はいずれも13時～15時までです。

嘉麻市認知症家族の会

認知症の方を介護しているご家族が集まり、お互いの体験や情報交換をしています。

- 平成29年12月23日(土)
- 平成30年1月27日(土)

ふれあいハウスにて(上山田502番地6)
※時間は13時30分～15時までです。

ひきこもり家族の集い

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろいろな悩みを話したり、情報交換をしています。

- 平成29年12月21日(木)
- 平成30年1月25日(木)

フリースペース

家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所です。特にプログラムはありません。

毎週木曜日 13時30分～15時30分

- 平成29年12月7日(木)、14日(木)、21日(木)
- 平成30年1月11日(木)、18日(木)、25日(木)

※ひきこもり家族の会、フリースペースの開催場所は、寄ってこハウスで、時間は13時30分～15時30分です。

日時等が変更になることもありますので、事前にご連絡ください。

《お問い合わせ先》

嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-1421075-1
E-mail:itk@kamasyakyo.com

本会のひきこもり相談支援センターは、家族会と共に家族の集いを開催しています。自宅中心の生活をしている方のご家族から、子どもに寄り添い見守らなければならなかったことに気がつき、今は見守り、待っているという声を聞きました。当事者のご家族だけでなく、地域全体で「見守る」という視点を学んでいきたいと考えています。不登校に関する現場などで活動されている宇部フロンティア大学・大学院教授の西村秀明さんに寄稿いただきました。

夏休み明けの9月という月は、未成年者の自殺が1年の内で一番多くなる月であるということ、既に報道等でよくご存じのことでしょう。2学期を前にして、学校で苦しい思いをさせられている子や、不登校から追いつめられている子どもたちが自らの命に終止符を打つという、実に悲しい日本特有の現象です。

今年、9月の新学期を前にしてある動物園が「学校に行きた

くなかったら動物園においで」とか、ある図書館は「何もしないだけでいい図書館へ来てください」というメッセージを発信していました。それはそれで、子どもたちの気持ちを汲みとった素敵なメッセージだと思います。が、学校に行かないというところでどうして自分の家に行きたくないのか、不思議な思いに駆られるのは私だけでしょうか。

あるご家族での家庭内暴力。もって行き場のない不安や苛立ちを親にぶつける現象。それでいて、多くの人は暴力を後悔して自分を責めたり、また特に母親へすり寄っては甘える行動をとったりします（私はこれを「癒やしの行動」と捉えています）。親にしてみますと、一体この子はどうしてしまったのかと思われるのも無理ありません。ただ、あるお母さんは「理屈で理解しようと思っても無理。理屈で理解できないことはいくらでもある」、「何でもありの家庭……、だから家庭なのだと思います」と言われました。

18歳を迎えた青年。小学校からの不登校で、学校や親から責められ結局、周囲を全く寄せつけないほどに頑なにひきこもった生活をしていました。親は将来を憂い、早く引きずり出しても何とかしてやらないと、この子はどうなっていくのかという心配が脳裏をよぎるものも少しばしばでした。そうしたある日、身体の異変を訴えて突然部屋から両親に顔を見せます。異変を知らされた親は、直ちに一緒に病院へ。診察の結果、脳腫瘍であることがわかり、手術への段取りとなります。しかし、悲しいことに術中にお亡くなりになりました。18年の人生——お母さんからの便りに、「ただ生きていてくれるだけでよかった」と綴られていました。

地球上に生命が誕生して40億年。人類の先祖の出現が6500万年前。その後脈々と受け継がれていき、たまたまこの時代に生まれて出会った私たちの「いのち」。この奇蹟に私たちはどう向きあっているのでしょうか……。



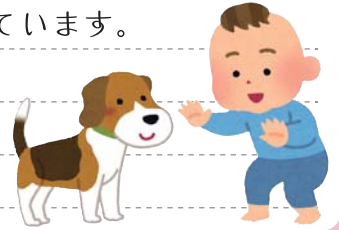
にしむら ひであき
西村 秀明さん

山口中央児童相談所、山口県宇部健康福祉センター、山口県精神保健福祉センターにおいて、子どもの不応問題から精神障がい者の地域援助、認知症の心理リハビリなど、多方面の支援に尽力。「ひきこもり家族の会」を主催、NPO法人Nest理事・アドバイザー、山口県犯罪被害者・加害者調停センターの調停人を務め、2003年からは宇部フロンティア大学及び大学院教授として長年に渡り、不登校・ひきこもりに関する現場で活動している。著書に、「ひきこもり その心理と援助 単行本」（出版社：教育史料出版会）、「子どもの心理 親の心理—子育てはこころ育て」（出版社：教育史料出版会）がある。



おおがみ さつき
大神 彩月 ちゃん

今はでんぐり返しに挑戦中で、えがおNo.140に登場した、お姉ちゃんなつぎの夏月ちゃんに教えてもらっています。犬のペコとお姉ちゃんが大好きで、一緒に遊んでいるときは嬉しくてニコニコしています。



もとむら たかし
本村 孝 さん

11月5日、嘉麻トレッキング倶楽部19名で大分県にある三俣山で登山を楽しんで来ました。秋空の中、紅葉は最盛期で、頂上は360度の展望と充実した1日でした。登山が好きな方へメッセージ… 嘉麻市のどこかの山でお会いしましょう。



社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

10月29日に行われた一夜城まつりで、本会に寄せられたリングプルは約何kgあったでしょうか？

- (1) 約 40 kg
- (2) 約 30 kg
- (3) 約 20 kg

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、12月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: tiki@kama.syakyo.com

前号のクイズの答え

(1) 5つ

嘉麻市には、5つの協議体があります。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・毎号楽しく拝見しています。お気に入り、炭鉱の記憶です。古い写真や歴史が大好きです。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



成年後見 Q&A

Q

「後見制度支援信託」とはどのような制度ですか？

A

本人の財産のうち、日常的な支払いに必要な預貯金は成年後見人等が管理し、普段使わない分を信託銀行などに信託する仕組みのことです。

成年後見と未成年後見において利用できますが、保佐、補助及び任意後見においては利用できません。信託財産を引き出したり、信託契約を解約するには家庭裁判所が発行する指示書を必要としますので、不正流用を防ぐことができます。



かまボランティア・市民活動センター情報



生徒会のみなさんと村上会長



リングプルの入ったケースを並べ、
贈呈式の準備をする生徒会の樋口愛花さん



紙コップを並べて作った黒田官兵衛の
キャンドルアート

10月29日(日)、嘉穂益富城自然公園で行われた一夜城まつりの会場で、嘉穂総合高校大隈城山校のみなさんから本会会長の村上へ、リングプルの贈呈が行われました。

この取り組みは今回で6回目となります。「嘉麻市に様々なこととお世話になっているから、恩返しをしたい。嘉麻市や被災された方々の役に立ててほしい」と、約20kgのリングプルをいただきました。このリングプルは、地域の方やご家族の協力を得ながら、「私たちにできることで、何か役に立てれば」との思いで、1年間かけて集めてくださったそうです。

当日、ステージまでの道を飾った竹灯籠は、一夜城まつりの来場者に楽しんでもらうために、夏休みから制作活動を開始しています。

また、会場には1000個の紙コップで作った灯籠で、黒田官兵衛のキャンドルアートが設置されました。赤や黒に色づけした紙コップの一つひとつに、校訓である「平和を祈り、和(なごみ)を大切にしよう」との思いが込められています。

地域の方に育てていただき、信頼してもらい愛される学校を目指したいと、来年に向けてすでに収集活動を始めているそうです。

ボランティア募集情報



冬休み期間中のボランティア

本会が実施する障がい児日中一時支援事業で、冬休み期間中に、利用している子どもさんたちと一緒に遊んでいただける方を募集しています。

- 日時** 平成29年12月23日(土)～平成30年1月8日(月)
(12月29日～1月3日及び日曜日を除く)
午前8時30分～午後5時の間で活動可能な時間帯で構いません。
- 場所** 嘉麻北日中一時支援事業所
(鴨生339 嘉穂特別支援学校横)
- 内容** 障がいのある子どもたちの遊び相手、宿題の補助など
- 備考** 動きやすい服装、時間帯によってはお弁当、飲み物をご準備ください。

《お問い合わせ・お申し込み先》

かまボランティア・市民活動センター 電話0948-42-0751

社会福祉法人嘉穂の里もちつき交流会ボランティア募集

さくら学園ではもちつき交流会のお手伝いをしてくださるボランティアを募集しています。

- 日時** 平成29年12月9日(土)雨天決行
9時～15時予定(短時間でも可)
- 場所** さくら学園(嘉麻市牛隈1712-7)
- 活動内容** もちつきのお手伝い又は男性の方は釜戸の火の当番、女性の方は餅丸め
- 備考** 動きやすい服装で、昼食はさくら学園にて用意
- 募集人数** 10名程度
- 募集締切** 12月8日(金)10時まで
- お問い合わせ** 電話0948-57-2207 FAX0948-57-3366
担当 澤田





笑顔の介護力 妻たちが語る

わが夫を見守る介護の日々

著者 小山明子さん、野坂陽子さん
出版社 かまくら春秋社



この本には、2人の著者が脳血管障害で倒れた夫の介護をする中で、の体験談が書かれています。介護は大変だけれども、ユーモアの力を借りれば、ほんの少し楽になる。そう思った思いが、さまざまな苦悩を乗り越えてきた経験から感じられ、前向きな気持ちになれる一冊です。

リハビリとしてよく用いられる作業療法ですが、腕や指先を使う単純な作業だけに、思うようにできないことがつらく、なかなか意欲的になれませんし

た。そこで、夫にあったリハビリ方法はなかったかと考え「兵隊ごっこ」と称した、立ち上がりや発声のリハビリを始めた結果、笑いを交えながら取り組むことができたそうです。また、夫が「死にたい」と自暴自棄なことを言う「あらパパ、死んじゃつたら大好きなビールも飲めなくなるし、美味しいご飯も食べられなくなっちゃうのよ」と、ユーモアのあるやりとりが描かれています。

著者は「深刻なことや暗くながちなことほどユーモアに変えれば、相手だけでなく自分もちよつと心が軽くなる」と述べています。この言葉から、自分の感情は、自分だけでなく相手にも影響を与えるということに改めて気づかされました。このことは、介護に限らず日常生活のあらゆる場面にも通じています。

つらいことがあった時には、その事実を受け入れつつ、ネガティブな感情をいかにユーモアに変えることができるか、いかに前向きな発想に転換できるかを考えていきたいと思いました。

(やひろ)

炭 鉱 の 記 憶

通商産業省(現在の経済産業省)の試験炭鉱開発確井分室や九州支所(直方市)で勤務されていた、鹿田しかた則光のりみつさんに話を伺いました。鹿田さんは約40年間、炭じん爆発の原因追及や災害防止策について研究されてきました。

坑内では、ガス爆発を起こさないようガスの濃度を下げるため、通気をよくした状態で風を送ります。しかし、その影響で坑内に炭じんが溜まり、舞い上がった炭じんが火源が加わることで爆発が起ると分かっていたそうです。



S41.7.17 爆発試験坑道での炭じん爆発実験



H10.8.31 空中炭じん爆発実験

そこで、岩粉を堆積している炭じんのうえに散布し、爆発のリスクを下げたり、ビニール製の水袋をたくさん吊るし、火炎遮断する水棚を作り予防に努められました。また、メタンガスの量が増えると知らせるガス警報装置やガスの濃度を測定する精密可燃性ガス検知器の研究に取り組み、坑内で作業する方々が安心して働ける環境づくりに取り組んでおられました。

鹿田さんの、「炭坑で働く方の命を守る、安全を守る」との使命感や研究への情熱を聞き、様々な立場で炭坑を支えた方々の思いを知ることができました。

山田ふれあいハウスからのお知らせ

一足早いクリスマスコンサートが始まるよ!

ドラムやマリンバ、キーボードなどの楽器をつかった演奏会を開催します。
クリスマスソングやジブリの音楽など、子どもたちが演奏する素敵なコンサート
です。ぜひお越しください。

日時：平成29年12月17日(日) 午後1時～午後2時
会場：山田ふれあいハウスホール
演奏者：トゥインクル・キャッツのみなさん
入場：無料



連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6 ☎0948-52-1847

年末年始は、下記の期間休館いたします。
記
平成29年12月28日(木)から平成30年1月4日(木)まで

心配ごと相談

とき：1月10日(水)
13:00～15:00
とき：1月24日(水)
13:00～15:00



※心配ごと相談の会場はいずれも
稲築住民センターです。

法律相談

とき：1月4日(木) 13:00～16:00
ところ：山田ふれあいハウス
とき：1月18日(木) 13:00～16:00
ところ：稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。先着順となっ
ていますので、お早目にお申し込みください。

1月の総合相談

葬儀を終えてご家族様を見送る時最
後に「ありがとう」とのお言葉を頂ける
事がございます。私共一同、葬儀を通し
て喜びを感じる時でもあります。これか
らもう一層お
客様の立場に立
って、ご奉仕さ
せて頂きます。
又、事前相談
等も常時承って
おりますのでお
気軽にご相談く
ださい。



嘉麻市牛隈1822
☎ (0948) 57-4444

いすや会館

指定葬祭場紹介

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、いすや会館を含め、市内に8ヶ所あります。

セレモニーホールおおつか	☎52-1212	飛鳥会館 南斎場	☎42-4241
かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566	きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499
善光会館 稲築会場	☎83-5000	ひさつね会館	☎52-0758
おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420		

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

10月1日～10月31日受付分

◆物品寄附

【子育てリユース】

【漆生本村】
親族 大沼 則子 様
故 大沼 弘 様

【枝坂】
親族 橋本 玲子 様
故 橋本 玉江 様

【三日町】
親族 税田 満寿子 様
故 税田 恒男 様

【東畑】
親族 伊藤 登志代 様
故 伊藤 武宣 様

【上西郷】
親族 伊藤 富美子 様
故 山口 タミエ 様

【下白井西】
親族 田中 森雄 様
故 田中 フサエ 様

【アルミ缶】

鴨生第一 我喜屋真由美 様
鴨生第一 大和 亨子 様
漆生東 坂本 真一 様
飯田 佐藤 麻美 様
飯田 松隈 明美 様
木城 笹尾 航希 様
別府市 島津美由紀 様

【市外】
嘉穂の名水愛好者一同 様

漆生本村 匿 名様
漆生南部 岩田 勇治 様
漆生南部 西田 幸子 様
漆生南部 市原登志彦 様
漆生南部 西岡 聖 様
西岩崎 山倉 正志 様
口春 篠崎 哲郎 様
鴨生第一 花村 誠市 様
猪之鼻 菊池 春政 様
上西郷 山口 春雄 様
貞月 大屋由理子 様
上牛隈 中嶋美津枝 様
嘉麻市身体障害者福祉協会 稲築支部 様
鴨生第二ふれあい 様
いきいきサロン 様
鴨生第一行政区 様

【リングプル】

石ヶ崎シニアクラブ 楠 様
セレモニーホールおおつか 様
漆生中央 新見 慶子 様
木城 笹尾 航希 様
ゆうひが丘 斎藤 秀子 様
中山田下 箕田ヤヨイ 様
石ヶ崎 國武美千代 様
貞月 大屋由理子 様
下牛隈 粉井電機商会 様
嘉麻市商工会 様
鴨生第二ふれあい 様
いきいきサロン 様
山野第一 ネットワーク委員会 様
スイミングプラザなつき 様
長円寺仏教婦人会 様
嘉穂ソフトバレー 様
嘉穂手話の会 様
ダスキン嘉穂 様
福岡県立 福岡県立 様
嘉穂総合高等学校 様
嘉麻市立大隈城山校 様

【古切手】

漆生中央 新見 慶子 様
辻中籠 米原 太輔 様
嘉麻市役所 様
教育ナビゲーション(株) 様
(有)川端建具店 様
木城 笹尾 航希 様
(有)川端建具店 様

【使用済テレカ】

木城 笹尾 航希 様
(有)川端建具店 様

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

10月1日～10月31日受付分

〈漆生中央〉田中茶舗(二口)

〈口春〉橋本武彦、永川義彦、

土屋彰、日野勝也、田中和

彦、坂本龍知、福澤正史、福

澤祐亮、國廣俊子、高宮大

樹、福澤末男、中ノ森信廣、

山本活平、伊達三治、小鶴哲

二、池野末光、瀧本信一、山崎

清、野見山正輝

〈山野第一〉新原真理子、中山

悦子

〈緑ヶ丘〉西好一郎、水上文

雄、瀧石ミヨコ、田原雄二、村

上義孝、永野三千男、金国勝

美、松下孝市、宮本孝子、富

永昭信、野嶋敏正、川上一記、

城崎淳代、蜂須賀テル子、嵯
村順子

〈熊ヶ畑第二〉広瀬美雪、山田

正昭、山田芳博、平嶋誠一、上

野富美子、石橋裕子、石橋和

稔、大里九州男、大里久美

子、広瀬正昭

〈熊ヶ畑第三〉平嶋善和、中村

初雄、田中芳浩、中原英洋、

野尻六直生

〈百々谷〉畑迫豊江、中川ミネ

子

〈三菱第一〉平田広志

〈上牛隈〉中嶋美津枝



ふるさとへの
手紙 No.142



福岡市東区在住
むろかわ けいすけ
室川 圭介さん
牛隈出身

本気を出せる居場所

飯塚高校を卒業後、20歳の時から福岡市内で一人暮らしを始め、今年で8年が経ちました。牛隈で生まれ育ち、妹が和太鼓を習い始めたことをきっかけに、当時10歳だった私も、練習に通うようになりました。全力で演奏したあとの爽快感や聞いた方に喜んでもらえる魅力に引き込まれ、今でも続いています。

現在は、プログラマーの仕事しながら、福岡市内で家族と共に暮らしていますが、故郷である嘉穂には、週に2回の頻度

で帰っています。月・水曜日には夢サイトかほでチーム『創作芸能 鼓夢』のメンバーと共に、和太鼓の練習や楽曲制作を行っています。

10年ほど前に自分たちで使う太鼓の檣(やぐら)太鼓を載せる台を作ってから、物を作る楽しさに気づき、今ではテーブルやカウンターなどの家具を自分で作るようになりました。振り返ってみると、私の生活の根源には和太鼓があり、人生の中心となっているように思います。

最近では、「一夜城まつり」で演奏させていただきました。当日は雨が降り、びしょ濡れになりながらの舞台でしたが、それも良い思い出となりました。今は座長として仕事の傍らに活動しており、これからもずっと続けていきたいと思っています。もし興味がある方がいらっしやいましたら、夢サイト嘉穂へお越しください。

ふるさとへの手紙 募集



このコーナーは、市外や県外で生活している嘉麻市出身の方に、ふるさとへの想いを綴っていただくコーナーです。嘉麻市で過ごした思い出や嘉麻市に帰省した際に懐かしく感じたことなどを寄稿していただける方を募集しています。

「昔のことを振り返る良い機会になった」「広報紙を読んだ旧友から、久しぶりの連絡があったよ」と嬉しい声も寄せられています。書いてくださる方、また寄稿できる方をご紹介いただける方は、ぜひご連絡ください。

●お問い合わせ先

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

編集後記



(おがわ)

表紙はおしゃべりサロンの様子です。サロンでは、子ども達と一緒に工作や料理を楽しみながら、子育てに役立つ情報交換なども行っています。



(ふじい)

地域の方から「ブログ見ているよ」と、うれしい言葉をかけてもらいました。改めて、日々の活動を発信していくことや伝えていくことの大切さを実感しました。



(なかの)

大隈城山校の生徒会のみなさんは、一夜城まつりの来場者に楽しんでもらうため、活動されていました。「私たちにできることをする」という思いを聞き、温かい気持ちになりました。



(いとう)

P9では、社協の会員に加入していただいた方を紹介しています。会費は社協が行う地域活動に役立てられます。ぜひ、ご協力をお願いします。



(やひろ)

今月の1冊で、笑いやユーモアの大切さを改めて感じさせられました。つらい時や大変な時こそ、少し気持ちに余裕を持ち、前向きな気持ちで過ごしたいと思いました。



(まつぐ)

成年後見Q&Aでは、さまざまな疑問を取り上げています。聞き慣れない用語も出てきますが、是非参考にしてもらい制度の理解に役立てていただきたいと思います。



(さわだ)

協議体では、買い物や病院に通いやすい移動の仕組みづくりに向けて活発な意見が聞かれます。ずっと暮らしていける地域にしたいという熱意が伝わってきます。